

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

# アジア経済概況（2008年8・9月）

## 【目次】

### ・中華圏・韓国

- 1 . 中国経済の概況・・・景気は減速しながらも拡大続く ... p.1
- 2 . 中国の主要指標解説：低迷する自動車販売 ... p.3
- 3 . 台湾経済の概況・・・4～6月期は内需低迷で4.3%成長に鈍化 ... p.4
- 4 . 韓国経済の概況・・・輸出の堅調を背景に景気は緩やかな拡大持続 ... p.5

### ・ASEAN・インド

- 1 . タイ経済の概況・・・4～6月期は内需低迷で5.3%成長に鈍化 ... p.6
- 2 . インドネシア経済の概況・・・内外需の堅調から緩やかに景気回復 ... p.7
- 3 . マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 . ベトナム経済の概況・・・引締め政策により景気過熱感やや和らぐ ... p.9
- 5 . インド経済の概況・・・4～6月期は投資低迷で7.9%成長に鈍化 ... p.10

### ・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

## 調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

野田 (mariko.noda@murc.jp)

## . 中華圏・韓国

## 1 . 中国経済の概況

- ・ 内外需とも底堅く推移しており、景気はゆっくりと減速しながらも拡大が続いている。1~8月期の固定資産投資（都市部・50万元以上、名目）は前年比27.4%増と高水準横ばいで推移している。物価上昇分を控除した実質ベースでも依然として前年比2割弱の拡大が続いている。金融引締め政策の影響はあるものの中央政府認可案件の投資の拡大が続いており、底堅く推移している。
- ・ 8月の社会消費品小売総額は名目ベースで前年比23.2%増、消費者物価上昇率を控除した実質ベースで同18.3%増と堅調に推移している。ただし、8月の自動車販売前年比6.3%減（乗用車は同6.2%減）となった。自動車販売が前年比マイナスとなったのは2005年2月以来約3年半ぶりのことである（詳細は3頁ご参照）。
- ・ 8月の輸出は前年比21.1%増と堅調であった。EU及びASEAN、並びに韓国、インドなど近隣アジア諸国向けの輸出が依然として好調なほか米国向けも持ち直し傾向にある。一方、輸入は原油をはじめとする一次産品価格の下落から前年比22.9%増にとどまった。この結果、8月の貿易黒字は287億ドルと大幅に拡大した。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は前年比4.9%と前月（同6.3%）から1.4%ポイント低下した。石油製品価格の引き上げから関連品目の価格は大幅に上昇しているが、消費者物価指数で3割強のウェイトを占める食品価格の騰勢鈍化（7月同14.4% 8月同10.3% = 4.1%；消費者物価上昇率寄与 = 1.4%）がこれらを相殺した形だ。
- ・ 実際、生産者物価上昇率は8月前年比10.1%と7月の同10.0%からじり高傾向にあり、インフレ圧力は依然として強いと見られる。しかし、米リーマン・ブラザーズ証券の経営破綻を契機に世界経済の先行き不透明感が強まる中で、中国人民銀行（中銀）は9月15日に貸出基準金利の引下げ（1年物：7.47% 7.20%；9月16日実施）と中小金融機関を対象に預金準備率の引下げ（17.5% 16.5%；9月25日実施）を決めた。景気悪化に対する予防的措置と見られる。
- ・ さらに中国政府は9月18日、昨年10月のピーク時より70%近く下落した株式相場のテコ入れ策として、国有投資会社による国有商業銀行株その他の株式の買い増し、株式購入時の印紙税の免除を発表した。これらの措置により一定の相場浮揚効果が期待される。しかし、今年4月の印紙税率引き下げの効果が一時的なものに終わった経緯もあり、状況によっては金融政策を含めて追加の措置が講じられる可能性があると思われる。

**【中国・香港の主要経済指標】**

			2005年	2006年	2007年	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.4	11.6	11.9	11.5	11.3	10.6	10.1				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	14.6	15.7	17.7	16.9	17.7	19.7	19.9				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	12.9	13.7	16.7	16.8	19.0	20.6	22.2	21.6	23.0	23.3	23.2
		うち市	前年比%	20.6	14.3	17.2	17.2	19.5	21.2	22.9	22.3	23.4	24.0	23.9
		うち県	前年比%	15.2	13.3	17.3	17.6	19.9	21.2	23.1	22.4	24.9	24.8	24.4
		うち県以下	前年比%	16.3	12.3	15.0	15.2	17.4	18.3	19.5	18.9	20.5	20.3	20.4
		自動車販売台数	前年比%	13.8	24.8	22.3	27.9	15.3	21.8	15.4	17.1	15.1	3.9	6.3
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	n.a.	29.6	22.3	28.6	16.3	20.4	13.7	15.6	14.9	6.8	6.2
		消費者自信指数	期中平均	94.2	94.7	96.5	97.0	96.5	94.8	94.1	94.3	94.1	94.5	
	消費者期待指数	期中平均	95.1	97.2	99.1	99.6	99.1	97.5	96.7	97.0	96.5	96.9		
	投資	固定資産投資(都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	27.2	24.5	25.8	26.4	25.8	25.9	26.8	25.6	26.8	27.3	27.4
		うち不動産・居住用建物	前年比%	19.6	26.8	30.3	30.1	30.3	34.3	35.1	33.9	35.1	32.6	30.9
		うち国内企業	前年比%	28.5	25.0	26.1	26.8	26.1	27.0	27.6	27.1	27.6	28.2	28.4
		うち製造業	前年比%	38.6	29.4	34.8	35.6	34.8	31.9	31.4	30.5	31.4	32.2	33.0
		うち鉄鋼	前年比%	27.5	2.5	12.2	13.0	12.2	22.4	23.0	20.9	23.0	28.2	26.7
		うち輸送機械	前年比%	51.1	25.2	38.5	35.2	38.5	48.0	45.6	41.6	45.6	46.0	47.2
うち電気機械		前年比%	44.9	45.6	44.9	43.5	44.9	45.0	44.5	36.7	44.5	45.1	46.1	
うち情報通信機器		前年比%	18.2	38.7	24.3	24.4	24.3	8.5	11.7	5.5	11.7	15.9	15.3	
直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	0.8	5.8	8.7	6.0	8.7	25.3	22.2	20.9	22.2	22.2	24.4	
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	19.4	0.3	13.8	10.9	13.8	61.2	45.6	55.0	45.6	44.5	41.6	
不動産景気指数	期中平均	101.9	102.5	103.9	104.5	106.3	105.1	103.5	103.3	103.1	102.4	101.8		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	102.1	177.5	262.0	73.2	76.0	41.4	58.2	20.2	21.4	25.3	28.7	
	輸出(ドルベース)	前年比%	28.4	27.2	25.7	26.2	22.2	21.4	22.4	28.1	17.7	26.9	21.1	
	輸入(ドルベース)	前年比%	17.7	19.9	20.8	20.7	25.4	28.6	32.4	40.1	31.2	33.6	22.9	
	対米貿易収支	10億ドル	114.2	144.3	162.9	44.7	44.2	33.2	42.1	14.3	14.7	16.4	17.5	
	対日貿易収支	10億ドル	16.4	24.0	31.8	9.9	7.8	8.3	10.9	3.1	4.1	4.7	3.8	
	外貨準備	期末10億ドル	818.9	1066.3	1528.2	1433.6	1528.2	1682.2	1808.8	1797.0	1808.8			
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	15.9	16.2	16.0	18.1	17.5	16.6	15.9	16.0	16.0	14.7	12.8	
	うち国有企業	前年比%	10.7	12.1	12.2	13.9	13.8	12.9	12.1	12.6	12.4	11.8	9.7	
	うち株式企業	前年比%	17.3	17.4	17.8	20.3	19.8	19.2	18.1	17.7	18.5	17.0	15.0	
	うち外商・港台企業	前年比%	15.8	16.7	14.9	16.7	16.3	14.5	13.8	14.4	12.8	11.9	9.7	
	在庫額	前年比%	21.0	18.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		25.2				
	うち鉱物	前年比%	42.4	37.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		16.9				
	うち素材	前年比%	27.1	19.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		29.1				
うち機械	前年比%	16.7	15.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		26.2					
所得雇用	発電量	前年比%	13.4	14.7	15.7	16.3	16.1	16.0	11.9	14.2	8.1	9.6	5.7	
	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	11.8	12.4	17.2	20.2	17.2	8.1	11.6					
	鉱工業雇用者数	前年比%	8.8	8.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		6.6				
物価	労働力市場求人倍率	期末	0.96	0.96	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98					
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	30.8	33.0	37.1	36.3	37.1	39.4	38.2					
	消費者物価指数	前年比%	1.8	1.5	4.8	6.1	6.6	8.0	7.8	7.7	7.1	6.3	4.9	
	うち食品	前年比%	2.9	2.3	12.4	16.8	17.5	21.0	19.8	19.9	17.3	14.4	10.3	
うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.1	1.2	2.0	1.7	1.9	2.2	2.8	2.8	2.9	3.1	3.2		
生産者物価指数	前年比%	4.9	3.0	3.1	2.6	4.4	6.9	8.4	8.2	8.8	10.0	10.1		
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	17.6	16.9	16.7	18.5	16.7	16.3	17.4	18.1	17.4	16.4	16.0	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.43	1.86	2.13	2.30	2.23	2.11	2.56	2.53	2.85	2.49	2.66	
	株価指数(上海総合)	期末	1,161	2,675	5,262	5,552	5,262	3,473	2,736	3,433	2,736	2,776	2,397	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	8.19	7.96	7.58	7.54	7.39	7.11	6.93	6.94	6.86	6.84	6.83	
	為替レート(円/元)	期中平均	13.4	14.6	15.5	15.5	15.3	14.5	15.2	15.2	15.5	15.7	15.9	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	7.1	7.0	6.4	6.8	6.9	7.3	4.2				
		うち民間消費	前年比%	3.0	6.0	7.8	10.6	9.5	7.9	3.1				
		うち固定資本形成	前年比%	4.1	7.0	4.2	0.5	8.2	9.9	4.3				
	名目GDP成長率	前年比%	7.0	6.7	9.5	10.2	12.1	9.8	6.3					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	6.1	5.6	10.4	12.6	13.6	11.2	7.1	5.8	4.2	6.5	
		不動産価格指数	前年比%	18.0	0.7	11.7	12.2	21.4	29.5	25.4	25.7	24.2	19.7	
	貿易	うち家屋160㎡超(香港島)	前年比%	21.5	5.4	21.8	14.5	57.6	44.5	41.9	22.6	72.7	14.5	
		不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%	2.7	20.2	49.8	32.3	95.8	58.3	9.1	25.5	5.7	19.1	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	81.4	138.8	183.2	36.6	52.0	51.4	67.6	27.5	24.0	19.5	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	11.4	9.3	9.3	8.2	8.2	10.5	7.9	10.3	0.6	11.1	
輸入(香港ドルベース)		前年比%	10.3	11.5	10.5	9.4	10.5	11.6	9.2	15.4	1.3	15.4		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.9	2.0	2.0	1.6	3.5	4.6	5.7	5.6	6.1	6.3		
	マネーサプライ(M3)	期末%	5.2	15.5	20.6	22.3	20.6	13.5	5.7	11.5	5.7	8.2		
金融	ハンセン指数	期末%	14,876	19,965	27,813	27,142	27,813	22,849	22,102	24,533	22,102	22,731	21,262	

(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。

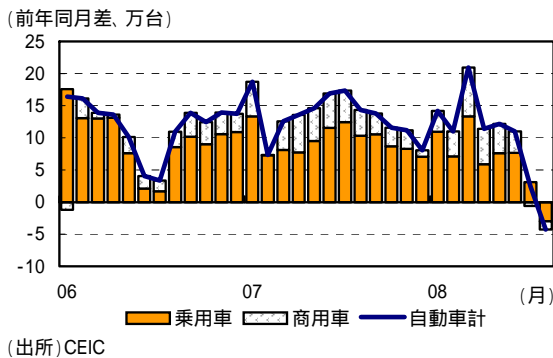
## 2. 中国の主要指標解説：低迷する自動車販売

8月の自動車販売が前年比6.3%減と約3年半ぶりにマイナスに転じた。商用車販売はすでに7月時点で前年比マイナスに転じていたが、8月に自動車販売の約7割を占める乗用車販売も前年比マイナスに転じたため全体としても前年割れとなった(図表1)。また乗用車販売の中身をみると全体の7割強を占めるセダンの販売不振が8月の乗用車販売落ち込みの主因であることがわかる(図表2)。

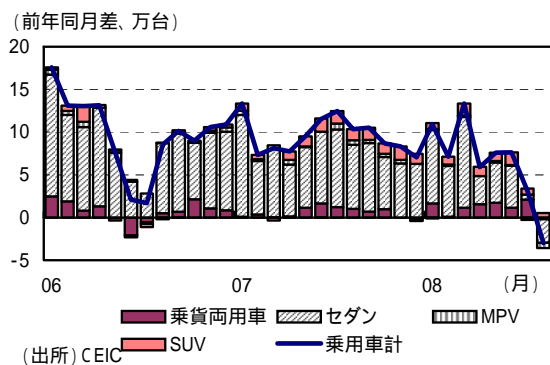
乗用車販売低迷の要因としては景気が減速傾向にあること、ガソリン価格の引き上げ、株価の低迷などが指摘されている。実際、図表3～5はこれらの要因が重なったことが足元の販売低迷をもたらしている可能性を示唆している。一方でこうした環境の影響を最も受けやすいはずのSUVの販売は足元も前年比プラスを維持しており、乗用車に対する需要には底堅いものと見られる。

しかしながら、当面は景気の減速傾向が続くと見られること、依然として国際価格に比べて割安なガソリン価格については一段の引き上げの可能性があると、株価の先行きには依然として不透明感があること、などを勘案すれば、乗用車販売は引き続き低迷する可能性があると考えられる。

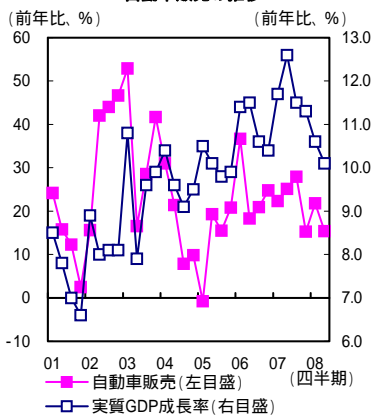
図表1. 自動車販売の推移



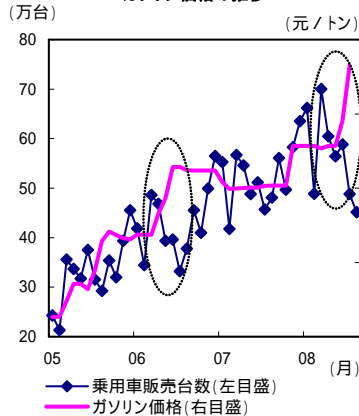
図表2. 乗用車販売の車種別推移



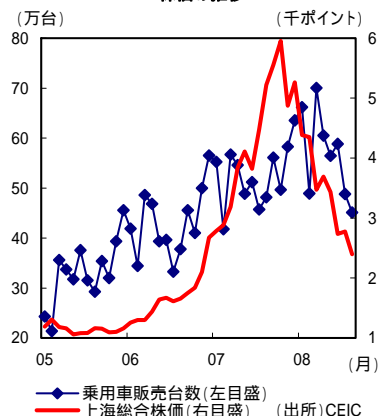
図表3. 実質GDP成長率と自動車販売の推移



図表4. 乗用車販売とガソリン価格の推移

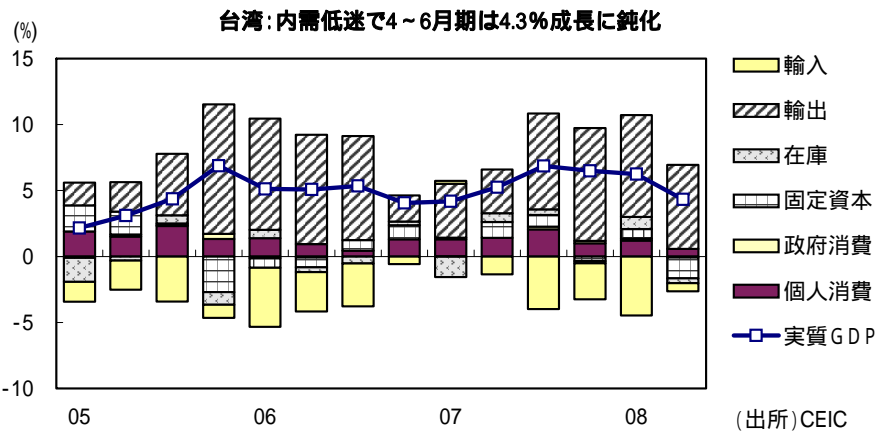


図表5. 乗用車販売と株価の推移



### 3. 台湾経済の概況

- ・ 景気の先行きに減速懸念が強まっている。4～6月期の実質GDP成長率は内需低迷から前年比4.3%に鈍化した。米国サブプライム・ローン問題を契機に世界景気が一段と減速する様相を見せる中、民間設備投資が大幅に落ち込んだうえ、インフレ加速に伴う購買力の低下から個人消費も鈍化した。
- ・ 一方、輸出は依然として堅調に推移しているが先行きについては不透明感が強まっている。7月の景気対策信号は前月からさらに5ポイント低下し、前月の景気安定と停滞の中間を示す「黄青」から景気停滞を示す「青」に変わった。
- ・ 他方、8月の消費者物価上昇率は夏期セールに伴う衣料品価格の低下やエネルギー価格の下落から前年比4.8%に低下した。こうした中で台湾中銀は9月16日、米大手証券の経営破綻に伴う金融市場の信用不安抑制のため預金準備率の引下げ（定期預金：5.75% 5.00%、普通預金：11.025% 9.775%）を決めた。



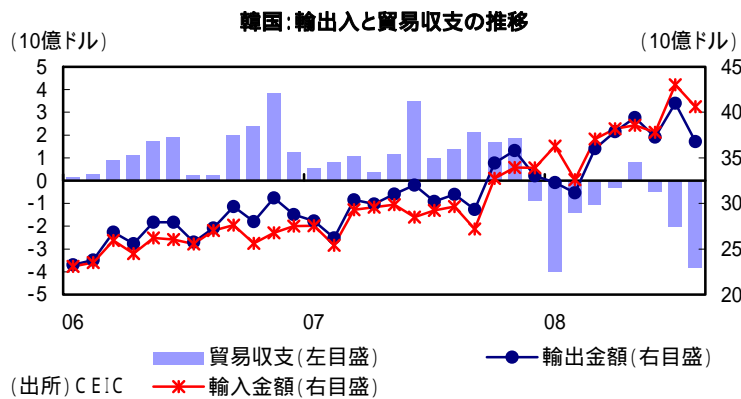
#### 台湾の主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	4.9	5.7	6.9	6.5	6.3	4.3				
	うち民間消費	3.0	1.8	2.6	3.6	1.9	2.0	1.1				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	1.2	0.6	2.4	4.5	1.7	4.4	7.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	3.8	4.7	7.8	9.8	14.6	12.3	6.8	5.6	5.1	1.1	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	15.8	21.3	27.4	6.9	10.0	3.3	4.7	2.2	1.5	0.4	0.0
	輸出(yoy)	8.8	12.9	10.1	9.6	15.3	17.5	18.6	20.5	21.2	8.0	18.4
	輸出受注(yoy)	19.2	16.7	15.5	18.5	17.6	15.7	13.1	14.5	9.3	5.5	
	輸入(yoy)	8.2	11.0	8.2	8.8	13.2	26.0	19.2	17.6	22.4	12.3	39.9
	経常収支(10億ドル)	17.6	26.3	33.0	6.5	11.2	8.5					
	外貨準備高(10億ドル)	253	266	270	263	270	287	291	290	291	291	282
雇用	失業率(季調値)	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	
物価	消費者物価(yoy)	2.3	0.6	1.8	1.5	4.5	3.6	4.2	3.7	5.0	5.9	4.8
金融	M2(yoy)	6.6	5.3	0.9	3.3	0.9	2.2	1.5	2.5	1.5	2.0	
	株価指数(加権指数)	6,548	7,824	8,506	9,477	8,506	8,573	7,524	8,619	7,524	7,024	7,046
	短期金利(オーバーナイト)	1.30	1.56	1.97	2.01	2.04	2.08	2.10	2.10	2.11	2.17	2.16
	為替レート(NTドル/ドル)	32.2	32.5	32.8	32.9	32.4	31.5	30.4	30.6	30.4	30.4	31.2
	為替レート(円/NTドル)	3.42	3.58	3.59	3.58	3.49	3.34	3.44	3.41	3.52	3.51	3.51

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

#### 4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に景気拡大は続いているが、先進国の景気減速の影響から拡大テンポは緩やかに鈍化している。8月の輸出は船舶、石油製品等は好調だったが、自動車の輸出がストの影響で前年比マイナスとなったほか、営業日数が昨年8月に比べ1.5日少ないことから前年比18.7%増にとどまった。一方、輸入は一次産品価格高を背景に同37.0%増と依然として大幅な増加が続いており、8月の貿易赤字は38億ドルに拡大した。他方、7月の小売売上は例年より気温が高かったことからエアコンなどの売上が伸び、前年比3.9%増となった。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は前年比5.6%と前月（同5.9%）から低下したが川上の生産者物価は前年比二桁ペースの上昇が続いており、インフレ圧力は依然として強い。しかし、景気の先行き不透明感が高まる中で、韓国中銀は9月11日、政策金利の据え置き（5.25%）を決めた。



#### 韓国の主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	5.1	5.0	5.1	5.7	5.8	4.8				
	うち民間消費支出	3.6	4.5	4.5	4.8	4.6	3.4	2.3				
	うち固定資本形成	2.4	3.6	4.0	1.3	2.9	0.5	0.1				
	うち設備	5.7	7.8	7.6	2.3	6.5	1.4	0.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	6.3	8.4	6.8	6.0	10.9	10.6	8.7	8.6	6.8	9.1	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.1	4.1	5.3	7.0	4.5	4.0	2.5	3.0	1.0	3.9	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	23.2	16.1	14.6	4.5	2.7	6.5	0.0	0.8	0.5	2.0	3.8
	輸出(yoy)	12.0	14.4	14.1	9.4	18.2	17.4	23.2	26.9	16.5	35.7	18.7
	輸入(yoy)	16.4	18.4	15.3	7.3	25.9	28.8	30.2	29.2	32.6	47.2	37.0
	経常収支(10億ドル)	15.0	5.4	6.0	4.4	3.2	5.2	0.1	0.4	1.8	2.5	
	外貨準備高(10億ドル)	210	239	262	257	262	264	258	258	258	248	243
雇用	失業率(季調値)	3.7	3.5	3.2	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.2	2.5	2.3	3.4	3.8	4.8	4.9	5.5	5.9	5.6
金融	M2(新) (New M2,yoy)	6.9	12.2	11.4	9.9	11.4	13.3	13.8	15.7	13.8	14.4	
	株価指数(総合)	1,379	1,434	1,897	1,946	1,897	1,704	1,675	1,852	1,675	1,595	1,474
	為替レート(ウォン/ドル) av.	1,024	955	929	928	921	956	1,018	1,037	1,029	1,019	1,042
	為替レート(円/100ウォン)	10.8	12.2	12.6	12.6	12.2	10.8	10.3	10.2	10.2	10.7	10.1
	CDレート(3ヵ月物)	3.65	4.48	5.16	5.20	5.50	5.45	5.37	5.36	5.36	5.52	5.79

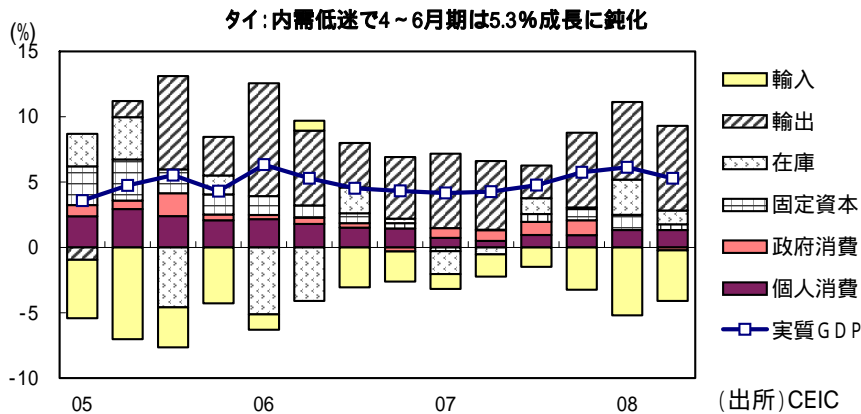
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 外需の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。4～6月期の実質GDP成長率は前年比5.3%と前期(同6.1%)からやや鈍化した。外需は堅調だったが、資材価格の高騰から公共投資が前年比5.2%減と大幅に減少したことに加えて、政情不安を背景に個人消費や民間投資など内需が全般的に低迷した。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は原油の国際価格の低下と政府の価格安定化策(石油製品に対する税率の引下げ、公共料金の引下げ、公共交通運賃の一部無料化など)を背景に前年比6.4%と前月(同9.2%)から大幅に低下した。一方で8月の輸出は先進国の景気低迷の影響から前年比14.9%増にとどまった。9月19日に首相に就任したソムチャイ氏は政権安定に加えて景気対策の実施も迫られている。



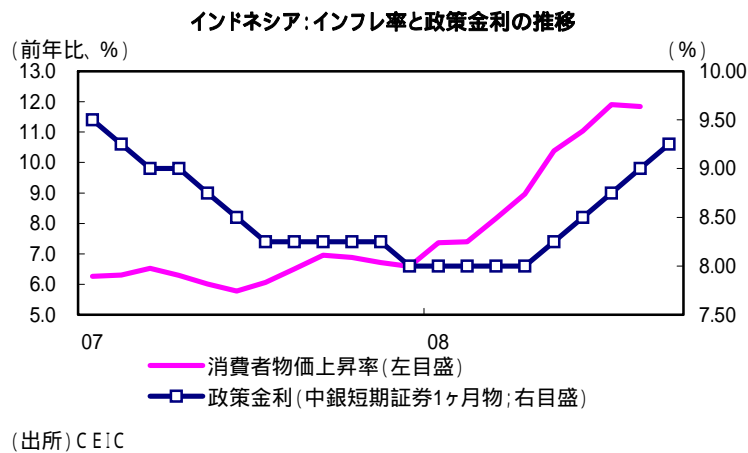
タイの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	4.5	5.1	4.8	4.8	5.7	6.1	5.3				
	民間消費	4.5	3.2	1.5	1.8	1.8	2.6	2.4				
	総固定資本形成	10.6	3.8	1.4	2.6	4.0	5.4	1.9				
生産	製造業生産指数(yoy)	9.1	7.4	8.2	7.7	12.9	12.6	10.1	9.0	11.2	11.7	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	3.1	2.5	2.6	4.2	7.1	6.9	6.3	6.1	9.3	
投資	民間企業投資指数(yoy)	10.3	2.2	0.5	2.0	3.6	5.9	4.7	4.5	4.3	3.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	7.2	0.9	12.1	2.9	4.5	1.2	0.1	1.3	0.6	1.0	0.8
	輸出(yoy)	15.0	16.9	17.2	11.3	23.0	20.9	25.2	21.4	27.5	43.9	14.9
	輸入(yoy)	25.7	9.0	8.7	7.9	15.4	38.1	29.7	15.7	30.7	55.1	26.9
国際収支	経常収支(10億ドル)	7.6	2.2	15.8	3.2	6.7	3.1	0.3	0.6	0.7	0.6	
	外貨準備高(10億ドル)	52.1	67.0	87.5	80.7	87.5	110.0	105.7	108.9	105.7	104.8	101.2
雇用	失業率(季調前)	1.9	1.5	1.4	1.2	1.1	1.6	1.4	1.5	1.2	1.3	
物価	消費者物価(総合,yoy)	4.5	4.6	2.2	1.6	2.9	5.0	7.5	7.6	8.9	9.2	6.4
	消費者物価(コア,yoy)	1.6	2.3	1.0	0.7	1.1	1.5	2.8	2.8	3.6	3.7	
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	6.3	6.2	0.9	2.7	0.9	2.2	0.3	1.6	0.3	1.2	
	商銀貸出残高(yoy)	8.4	5.6	6.8	4.9	6.8	17.0					
	不良債権比率(3M基準,%)	8.2	7.5	7.3	8.0	7.3	6.8					
	株価指数(SET)	714	680	858	846	858	817	769	834	769	676	684
	為替レート(円/US\$)	40.2	37.9	34.5	34.0	33.9	32.4	32.2	32.1	33.1	33.5	33.8
	為替レート(円/US\$)	2.7	3.1	3.4	3.5	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2
インターバンク金利(3M)av.	3.22	5.16	4.04	3.60	3.65	3.37	3.38	3.31	3.56	3.74	3.79	

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%), 総合消費指数は10系列をベースにした指数に変更いたしました。

## 2. インドネシア経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いているが先行きやや不透明感が強まっている。4～6月の実質GDP成長率は輸出と消費の堅調を背景に前年比6.4%と事前の減速予想に反して前期(同6.3%)を0.1%ポイント上回った。
- ・ しかし、高水準のインフレを背景に政策金利の引き上げが続いており、景気への影響が懸念されている。8月の消費者物価上昇率は食品価格の高騰が続いていることから前年比11.8%となった。11%台は新基準となった6月以降3カ月連続。こうした中で中銀は9月4日、5月以降5ヵ月連続となる政策金利の引き上げ(9.00%→9.25%)を決めた。相次ぐ利上げにもかかわらず、8月の自動車販売台数は前年比40.8%増と依然として堅調に推移しており、金利高の影響はまだ顕在化していない。しかし、利上げの継続に対して産業界は警戒感を強めている。



### インドネシアの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	5.7	5.5	6.3	6.5	6.3	6.3	6.4				
	民間消費支出	4.0	3.2	5.0	5.1	5.6	5.7	5.3				
	総固定資本形成	10.9	2.5	9.2	10.4	12.1	15.4	12.8				
生産	製造業生産(yoy)	1.3	1.6	5.6	4.0	4.5	5.8	2.7				
消費	小売売上(yoy)	15.9	4.0	10.4	11.6	8.8	3.8	8.4	7.5	7.4	6.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.0	39.7	39.6	9.1	10.4	4.0	1.4	1.2	0.9	0.3	
	輸出(yoy)	19.7	17.7	13.2	9.4	14.1	31.9	29.9	31.6	34.9	25.0	
	(除く石油ガス,yoy)	18.8	19.8	15.6	10.9	11.3	25.4	21.3	20.8	28.3	17.8	
	輸入(yoy)	24.0	5.8	22.0	19.6	34.7	90.6	95.1	80.7	99.9	101.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	10.8	10.4	2.1	3.4	2.3	1.5				
	外貨準備高(10億ドル)	34.7	42.6	56.9	52.9	56.9	59.0	59.5	57.5	59.5	60.6	58.4
物価	消費者物価(yoy)	10.5	13.1	6.4	6.5	6.7	7.6	10.1	10.4	11.0	11.9	11.8
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	14.9	18.9	17.1	18.9	15.3	17.0	17.5	17.0	14.0	
	株価指数(総合)	1,163	1,806	2,746	2,359	2,746	2,447	2,349	2,444	2,349	2,305	2,166
	為替レート(北アドル)	9,751	9,141	9,164	9,244	9,299	9,186	9,259	9,318	9,225	9,118	9,153
	為替レート(円/100北ア)	1.13	1.27	1.29	1.27	1.22	1.15	1.13	1.12	1.16	1.17	1.19
	中銀債金利(3ヵ月)	9.16	11.74	8.04	7.83	7.83	7.96	8.56	8.44	9.20	9.72	9.74

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、輸入は08年以降、保税区分合算ベース。消費者物価は08年6月より2007年=100基準。



### 3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

**【マレーシアの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	5.8	6.3	6.7	7.3	7.1	6.3				
	民間消費	9.1	6.5	10.8	13.0	10.2	11.7	9.0				
	総固定資本形成	5.0	7.9	9.6	12.8	10.2	6.0	5.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.0	4.6	2.1	1.8	4.4	5.8	3.4	2.9	2.2	1.7	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.4	29.5	29.2	8.1	8.5	8.3	12.6	4.8	3.9	4.5	
	輸出(yoy)	11.3	14.0	9.7	6.9	16.1	19.2	28.9	29.9	25.4	32.9	
	輸入(yoy)	9.0	14.4	12.1	8.0	19.7	15.8	17.3	15.6	19.0	21.6	
国際収支	経常収支(10億リヤ)	78.4	93.5	100.4	29.4	26.3	23.8					
	外貨準備高(10億ドル)	70	83	119	113	119	145	145	149	145	141	
雇用	失業率(%)	3.6	3.3	3.2	3.1	3.0	3.6					
物価	消費者物価(yoy)	3.0	3.6	2.0	1.8	2.2	2.6	4.9	3.8	7.7	8.5	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.6	17.1	9.5	12.2	9.5	11.8	15.9	13.7	15.9	16.1	
	貸出残高(yoy)	17.5	11.1	8.7	9.4	8.7	9.9	12.3	11.6	12.3	10.5	
	不良債権比率(3M基準,%)	5.8	4.8	3.2	3.5	3.2	3.0	2.7	2.8	2.7	2.5	
	株価指数(総合)	900	1,096	1,445	1,336	1,445	1,248	1,187	1,276	1,187	1,163	1,101
	為替レート(リヤ/ドル)	3.79	3.67	3.44	3.47	3.36	3.23	3.21	3.22	3.26	3.25	3.33
	為替レート(円/リヤ)	29.1	31.7	34.3	34.0	33.7	32.6	32.6	32.4	32.8	32.9	32.9
	インターバンク金利(1M,%)	2.84	3.54	3.54	3.54	3.54	3.55	3.56	3.56	3.56	3.56	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	5.0	5.4	7.2	7.1	6.4	4.7	4.6				
	民間消費支出	4.8	5.5	5.8	5.7	6.2	5.2	3.4				
	固定資本形成	6.6	3.8	11.8	8.8	6.7	2.9	5.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	10.2	1.6	3.4	1.4	1.7	0.7	9.4	10.6	9.3		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	6.2	4.4	5.0	2.0	2.1	2.1	1.9	0.5	0.8		
	輸出(yoy)	4.0	14.9	6.4	2.3	9.9	2.7	5.3	2.3	8.8	4.3	
	輸入(yoy)	7.7	9.2	7.2	8.2	13.9	20.1	11.8	10.9	12.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.0	5.3	6.3	1.0	1.7	0.9	0.8	0.3	0.1		
	外貨準備高(10億ドル)	17.7	23.0	33.7	30.9	33.7	36.6	36.2	36.2	36.2	36.4	36.0
物価	消費者物価(yoy)	7.7	6.3	2.8	2.5	3.3	5.5	9.7	9.5	11.4	12.3	12.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.8	22.1	9.6	11.3	9.6	9.6					
	株価指数(総合)	2,096	2,983	3,622	3,573	3,622	2,985	2,460	2,827	2,460	2,577	2,688
	為替レート(ペソ/ドル) av	55.1	51.3	46.1	45.9	43.1	41.0	43.0	42.9	44.3	45.0	44.9
	為替レート(円/ペソ)	2.00	2.27	2.55	2.56	2.62	2.57	2.43	2.43	2.41	2.38	2.44
	インターバンク(3ヵ月,%)	6.97	7.37	6.25	6.86	6.68	6.45	6.49	6.48	6.51	5.86	4.99

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

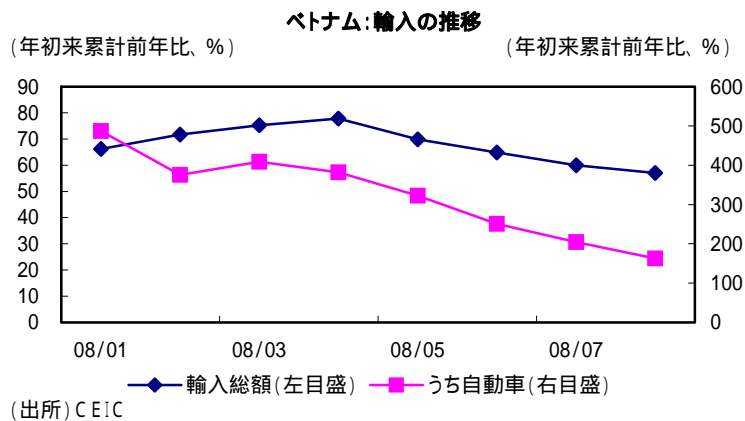
**【シンガポールの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	8.2	7.7	9.5	5.4	6.9	2.1				
	民間消費	3.9	3.3	4.6	5.6	5.1	4.4	5.4				
	総固定資本形成	0.1	13.5	20.2	17.0	16.5	30.8	25.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	9.5	11.9	5.9	11.8	1.2	12.7	5.3	13.3	2.4	21.9	
消費	小売売上指数(yoy)	8.6	7.2	3.4	1.4	2.2	0.9	2.7	0.5	8.7	6.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	29.6	33.1	36.1	11.0	6.5	6.2	4.6	1.7	1.4	1.5	2.6
	輸出(yoy)	15.6	18.4	10.1	8.4	14.8	21.2	26.4	25.3	24.6	28.5	16.9
	輸入(yoy)	15.2	19.3	10.2	4.7	20.8	32.1	35.5	32.6	33.3	41.5	23.5
国際収支	経常収支(10億ドル)	37.1	47.3	59.0	18.3	10.9	9.9	8.5				
	外貨準備高(10億ドル)	116	136	163	152	163	177	177	176	177	175	170
雇用	失業率(季調値,%)	3.1	2.7	2.1	1.7	1.7	2.0	2.3				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.0	2.1	2.7	4.1	6.6	7.5	7.5	7.5	6.5	
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	19.4	13.4	20.0	13.4	11.9	7.5	8.6	7.5	9.6	
	株価指数(Sトレイト)	2,347	2,986	3,482	3,706	3,482	3,007	2,948	3,193	2,948	2,930	2,740
	為替レート(S\$/ドル)	1.665	1.589	1.507	1.517	1.454	1.409	1.366	1.367	1.368	1.359	1.403
	為替レート(円/S\$)	66.2	73.2	78.1	77.6	77.8	74.7	76.6	76.4	78.2	78.6	78.0
	インターバンク金利(3M,%)	2.29	3.46	2.72	2.65	2.48	1.52	1.29	1.25	1.19	1.00	1.19

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

#### 4. ベトナム経済の概況

- ・ 政府の引締め政策により景気の過熱感は徐々に和らいできた。1～8月期の小売売上は名目ベースでは前年比 32.8%増と依然として大幅な増加が続いているが、実質ベース（当部試算）では同 10.6%増と鈍化している。
- ・ 実際、1～8月期の輸入も前年比 57.0%増と依然として高水準ながら伸び率自体は徐々に鈍化している。また輸入増加をもたらす貿易赤字拡大の一因とされる自動車の輸入も1～8月期前年比 162.5%増となお大幅な増勢が続いているものの輸入関税の引き上げなどの輸入抑制策により伸び率は大きく鈍化している。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は7月のガソリン価格引き上げなどの影響から前年比 28.3%と前月（同 27.0%）からさらに加速した。ただし、その後原油価格の低下を受けてガソリン価格は数回にわたって引き下げられた。また9月16日には石油販売業者と生産者が市場実勢に合わせて価格を設定する方式への移行が発表された。足元の原油価格の低下が9月以降、インフレ抑制につながる可能性が出てきた。



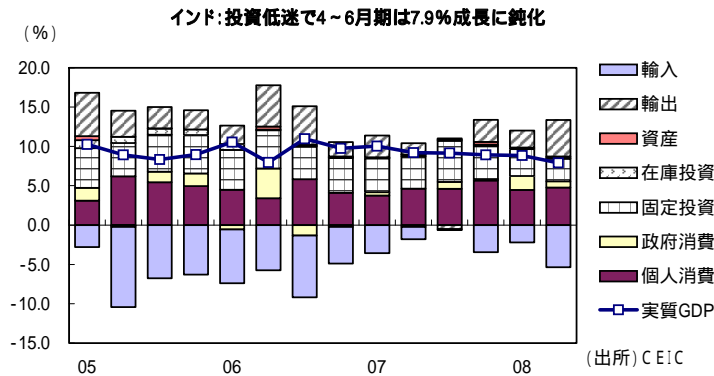
#### ベトナムの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	8.4	8.2	8.5	8.2	8.5	7.5	6.5				
	農業生産	4.0	3.4	3.4	3.1	3.4	3.2	3.3				
	鉱工業・建設生産	10.6	10.4	10.6	10.1	10.6	8.0	7.0				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.7	18.0	16.7	14.5	16.7	23.7	18.5	19.9	18.5	17.4	18.9
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	27.6	22.2	25.0	24.4	25.0	33.4	33.3	32.8	33.3	33.7	32.8
輸出入 ytd	貿易収支(10億ドル)	4.6	4.8	12.4	7.9	12.4	8.3	14.2	13.5	14.2	15.0	16.0
	輸出(yoy)	24.0	22.9	22.2	18.3	22.2	24.6	35.9	31.8	35.9	37.5	39.2
	輸入(yoy)	17.0	20.4	37.0	30.2	37.0	75.2	64.9	69.8	64.9	60.0	57.0
国際収支	経常収支(100万ドル)	217	569									
	外貨準備高(100万ドル)	9,050	13,383	23,595	22,574	23,595						
物価	消費者物価(yoy)	8.3	7.4	8.3	8.6	10.7	16.4	24.5	25.2	26.8	27.0	28.3
金融	株価指数(VN index)	308	752	927	1,047	927	521	399	414	399	451	539
	為替レート(ドン/ドル)	15,832	15,970	16,063	16,133	16,040	15,997	16,397	16,245	16,840	16,720	16,480
	為替レート(円/100ドン)	0.71	0.74	0.74	0.73	0.72	0.66	0.64	0.63	0.64	0.66	0.67
	プライムレート(翌日物:期末)	n.a.	n.a.	8.25	8.25	8.25	8.75	14.00	12.00	14.00	14.00	14.00

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

## 5. インド経済の概況

- ・ インフレ抑制のための引締め政策により景気は緩やかに減速している。4～6月期の実質GDP成長率は金利高と原材料高により固定資産投資が前年比9.0%増と一桁台に低迷したことから同7.9%に鈍化した。一方、個人消費は農民を対象とした債務減免措置などの所得政策の効果もあり、インフレ高進にもかかわらず、堅調に推移した。
- ・ 7月の鉱工業生産は資本財及び耐久消費財生産の好調から前年比7.1%増と大幅に持ち直した。金利高から新車販売は低迷しているが、所得政策の効果もあり、白物家電の販売は好調と見られ、関連の投資も増加していると伝えられている。
- ・ 一方、中銀の金融引締め政策にもかかわらず8月の卸売物価上昇率は前年比12.5%とさらに加速。またマネーサプライも前年比21.1%増と高水準の伸びが続いており、引締め政策は10月に予定されている中銀の次回金融政策見直し会合でも維持されるとの見方が強まっている。



### インドの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	08/5月	08/6月	08/7月	08/8月
GDP (yoy)	実質GDP	9.1	9.8	9.3	9.3	8.8	8.8	7.9				
	農業生産	5.0	4.0	5.1	4.7	6.0	2.9	3.0				
	実質GDP (年度)	9.4	9.6	9.0								
	農業生産 (年度)	5.9	3.8	4.5								
生産	鉱工業生産(yoy)	7.9	10.5	9.9	8.7	8.3	7.0	5.2	4.1	5.4	7.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.9	53.1	69.6	17.5	19.9	21.7	30.4	10.8	9.8	10.8	
	輸出(yoy)	27.4	25.7	21.5	17.5	33.0	30.8	22.3	12.9	23.5	31.2	
	輸入(yoy)	44.0	24.2	24.4	19.4	27.7	47.9	29.7	27.1	25.9	48.1	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.3	9.5	12.1	4.9	5.1	1.0					
	金・外貨準備高(10億ドル)	137.2	177.3	275.3	247.8	275.3	309.7	312.1	314.6	312.1	306.2	295.3
物価	卸売物価(yoy)	4.7	4.8	4.8	4.1	3.4	5.8	9.6	8.9	11.8	12.1	12.5
	消費者物価(yoy)	4.0	6.3	6.4	6.7	5.5	6.3	7.8	7.8	7.7	8.3	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	17.8	19.3	22.6	21.3	22.6	20.8	20.7	22.5	20.7	20.0	21.1
	株価指数(BSE Sensitive)	9,398	13,787	20,287	17,291	20,287	15,644	13,462	16,416	13,462	14,356	14,565
	為替レート(ルピー/ドル)	44.1	45.3	41.2	40.4	39.5	39.8	42.0	42.6	43.0	42.5	43.8
	為替レート(円/ルピー)	2.50	2.57	2.86	2.92	2.87	2.65	2.49	2.45	2.49	2.51	2.50
	TB3ヶ月	5.43	6.40	7.17	6.25	7.39	7.31	7.85	7.48	8.73	9.36	9.06

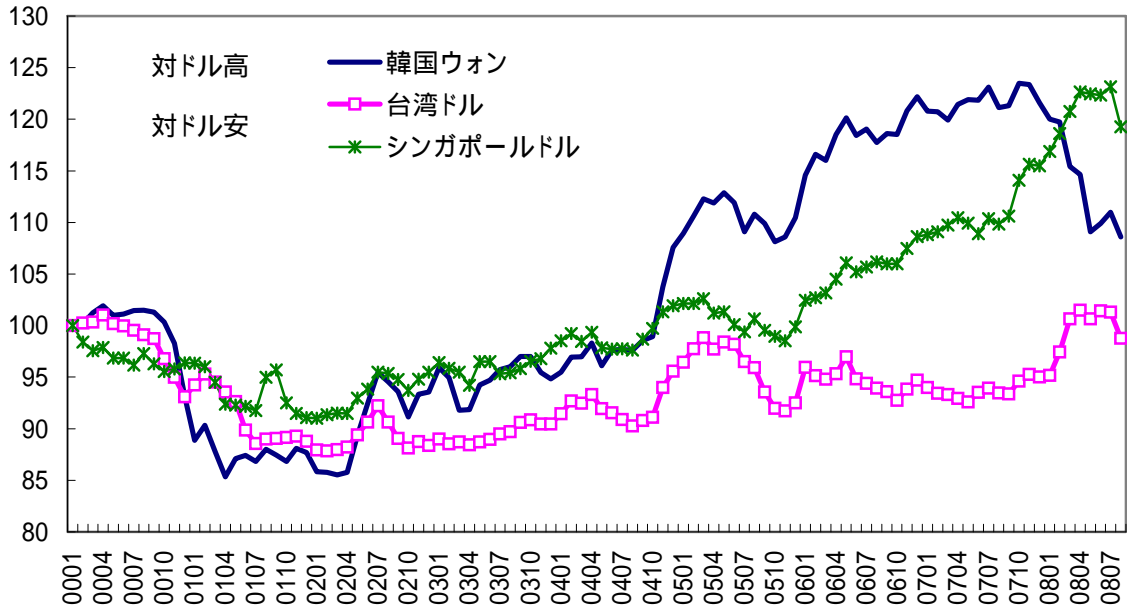
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

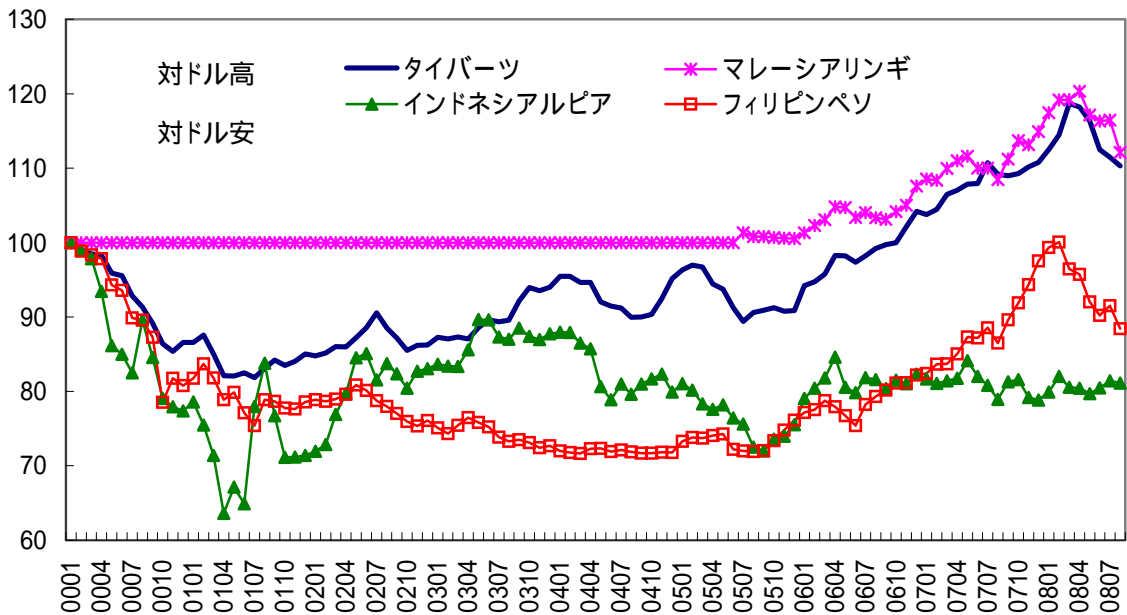
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

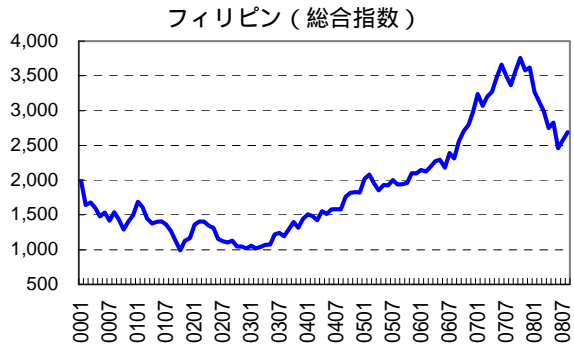
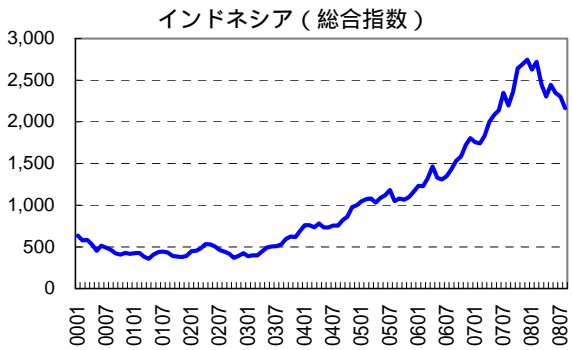
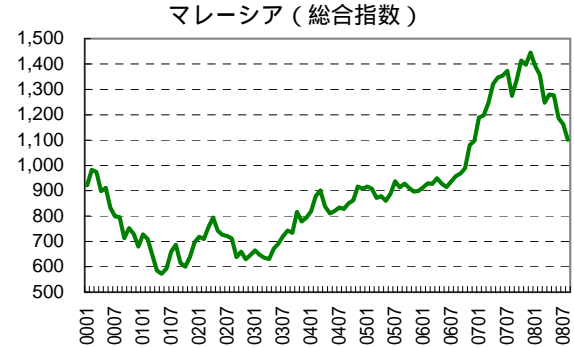
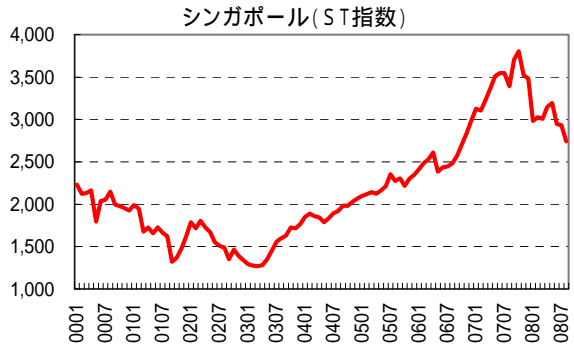
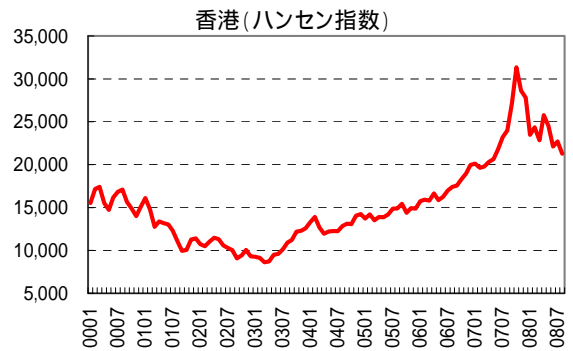
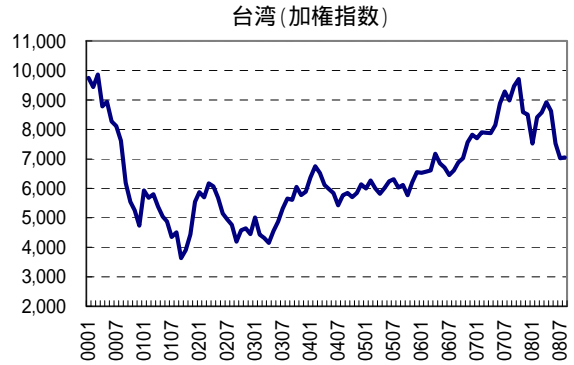
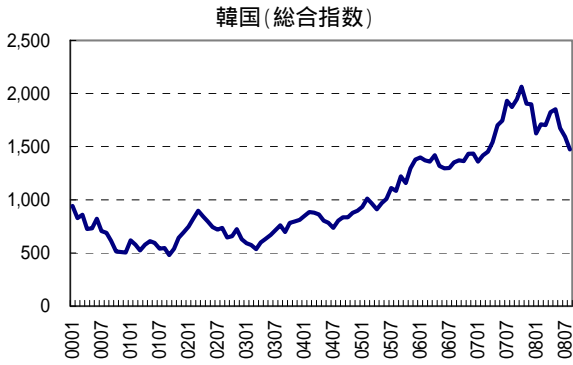


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、弊社はその正確性を保証するものではありません。また執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一的な見解ではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。当資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されております。全文または一部を転載する際は出所を明記して下さい。